

産業建設委員会

令和4年7月21日(木)
10時～時分
全員協議会室

- 【委員】 川上委員長、田畑副委員長
沖田委員、串崎委員、上野委員、布施委員、牛尾委員
- 【委員外】
- 【議長団】
- 【執行部】
- 【事務局】 大下書記
-

議題

- 【取組課題】 漁業関係者から聴き取りした問題点と課題について
(委員間で協議)
- 【取組課題】 農林畜産関係の取組について (委員間で協議)
- その他

漁業関係者から聴き取りした問題点

1	年齢:60 状況等:退職後、父の指導を受け、一本釣りを営む。	備考
沖田	<ul style="list-style-type: none"> ・漁獲量は減少しているうえ魚価が安い。漁業で生計を立てていくことは困難。 ・昨年9月から漁業を始めて現在までの水揚げ高が一本釣り漁業者としては比較的多い方だとは思いますが、燃料や経費もかかるため経営としては楽ではない。 ・海の仕事につきたいと長年思っていた。定年を契機に始めた漁業を今後も続けていく考え、同じように漁業を志すもの同士の交流の機会、情報共有しあえる関係者などのネットワークがあれば良いと思う。今はそのような機会はない。 	
串崎	<ul style="list-style-type: none"> ・付加価値を付け、魚価を上げる対策が必要。 ・50歳・53歳、漁師に興味を示している。支援が必要。 	
上野	<ul style="list-style-type: none"> ・鮮度を保つため絞めて出すが、市場に出すと、絞めていない人とみな同じ値段。燃料代、修理代(造船所は境港か下関までない) 努力しても成果が出ない。 ・維持費がかかるし若い方はたくわえがないと難しく、漁業も今のままでは続かない。無理。農業は補助が多い漁業にもしないと持たない。 ・遊漁船が増えているその対応も必要。 	
川上	<ul style="list-style-type: none"> ・魚価は漁法を反映したものにする必要がある。 ・漁業者へ手を差し伸べる方策が不足している。 ・漁業者間のネットワーク構築が急がれる(情報交換等)。 ・海が好きな若者が集い、そこから発生した漁業への興味を引き出せる方策。 	
布施	<ul style="list-style-type: none"> ・新船を希望したが船を作ってくれるところがない。 ・漁業コスト(燃油、発泡スチロール)など上昇、魚価はコロナ禍で市場価格は低迷し、温暖化で魚が獲れなくなっている→収益率が悪化 ・漁協が高く競る意識がない(努力した成果が出ない) ・個人の付加価値(ブランド)を付けないとやっていけない ・漁法を受け継いでいるので、教えたい。 ・遊漁船が増えている(釣り船)何らかの規制を考えるべきではなかろうか。 ・魚を食べる人が減ってきている。 	
田畑	<ul style="list-style-type: none"> ・遊漁船が増えてきて、一本釣り漁師がいなくなる。 ・一本釣りと底曳き漁の魚の単価が同じである。セリの方法を考えてほしい。 	

漁業関係者から聴き取りした問題点

2	年齢:34 名古屋からIターン。定置網で漁業研修を行いながら、自営漁業を目指す。	備考
沖田	<ul style="list-style-type: none"> ・Iターンで移住し収入差は改めて感じている。 ・現在は鳥根県の定住財団の支援を受け、早朝より浜田大敷、空いた時間で採貝などの沿岸漁業を行っている。 ・まだ子どもが幼いため、急な発熱などで保育園を休まなくてはならない時に見てくれる人がいない、奥さんへの負担をかけているなど、慣れない生活環境への対応がまだできていない。 ・今後は大好きな海を生業とする仲間とのネットワークづくりができればと考えている。 	
串崎	<ul style="list-style-type: none"> ・半魚半Xで、収入面の確保が必要。横の連絡、話が出る体制が必要。 ・夢は、漁師をしながら、鉄板焼がしたい。支援策がないか。 	
上野	<ul style="list-style-type: none"> ・Iターン同士のつながりが欲しい話し合える仲間・相談する人が欲しい。 	
川上	<ul style="list-style-type: none"> ・移住へ差し伸べる手が必要。 ・仲間を増やす方策に期待。 ・ネットワーク造りに行政の力を。 ・間を取り持つ人材の育成が急がれる。 	
布施	<ul style="list-style-type: none"> ・研修後の収支予想(粗利益)が気になる。家族構成により変動する。 ・単身でのIターンなら何とかなるが、家族ぐるみでのIターン生活はギリギリである。 ・兼業(半漁半X)のどちらかに力点を置くかで漁業スタイルが決まる。仕事は苦しい、収益が上がらない。したい漁師をしながらどう生活をしていきたいか考えていきたい。(奥様の仕事や子育て等) ・漁業一本ではこれからは生活を維持するのは難しい。副業は必要ではないか? そのための期間雇用や仕事支援をお願いしたい。 ・不安があるので、漁業以外でも何でも親身になって相談に応じる人材が必要と思う。取組の最初が大事。 ・一人でなくて、みんなでやれば出来るのではないか。同じ仲間を僕らの世代で増やしていきたい。同じ境遇の人と話し合う事が大事である。(ネットワーク作りが大事) 	
田畑	<ul style="list-style-type: none"> ・友達を増やしたい。人と人とのつながりを大切にしたい。 ・Iターン同士で相談できる仕組みが欲しい。孤独である。 ・県の支援を受けているが、3年間後が心配。 	

漁業関係者から聴き取りした問題点

3	年齢:38 父親が組合員で漁船を持つ。本人は、R4.4月に准組合員資格を取得予定。現在は飲食店経営。並行して漁業を営むことを検討。	備考
沖田	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により飲食店経営は悪化している。元々実家が漁業を営んでいたこともあり飲食店と並行して漁業をしようと現在は父親の漁船に同乗し漁業を勉強している。 ・漁業も飲食店も収入が安定していないことが不安要素。 ・自分で水揚げした魚介類を店で提供している、今後も続けていきたいと考えるが、まだまだ十分な体制ではないため、良い方法を模索している。 ・同年代の漁業者とのネットワークは必要。 	
串崎	<ul style="list-style-type: none"> ・素潜りをしながら、飲食店をしたいが収入面の確保が必要。 ・コミュニケーションが必要。 	
上野	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク作りが大切。 ・魚が安い。魚種で統一されている。 ・販路を作り自分で売る。手伝ってくれる仲間が欲しい。 ・魚食人口減、普及の努力。子供に向けてが大切。魚食の日、子供の料理教室、 ・後継者への支援を。市にやりたい方を応援してほしい。 	
川上	<ul style="list-style-type: none"> ・魚食人口の減少を問題視すべき。 ・魚の食べ方を広める方策。 ・チャレンジする機会を創造。 ・共有できる取組。 ・行政の横断的取組の活性化。 	
布施	<ul style="list-style-type: none"> ・長浜で素潜りをしたいと思ったが、長浜は出来なかった。 ・付加価値が付いた(ブランディング)ものを将来的に提供していきたい。 	
田畑	<ul style="list-style-type: none"> ・素潜りの規制があり、始めたばかりでよくわからない。 ・仲間を増やしたい。つながりが欲しい。 	

産業建設委員会での取組課題について

【取組み方】 浜田市の水産業・農林畜産業、一次産業を支える二次産業等の現状確認について、業種ごとに計画し意見交換会を行う。

業種	意見交換会の内容	現在検討中業者
水 産 業	漁業	
	受け継いだ方や、これから受け継ごうとする方より、現状や今後の取り組みにあたっての問題点・課題、その他ご意見を伺う。	2名 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">6/24 終了</div>
	鮮魚卸・水産加工業	
	水揚げの少なくなった浜田漁港を支える鮮魚卸・水産加工業者の方々、特に事業承継にあたっての問題点・課題、その他ご意見を伺う。	鮮魚卸…1社 水産加工業…3社
農 林 畜 産 業	農業	
	人・農地プランが進む中で、地域農業の中心経営体として農業を営んでおられる方々より、問題点・課題、その他ご意見を伺う。	2団体
	林業	
	50年サイクル、バイオマスへの活用などと最近注目されてきた林業について、森林組合外の方々より問題点・課題、その他ご意見を伺う。	1社
	畜産業	
畜産業のみならず多角的な経営に踏み出しておられる方より、問題点・課題、その他ご意見を伺う。	1団体	
そ の 他	商工事業者の事業承継	
	市内では、商工事業者に事業承継の時期を迎えるところが多々あるように伺う。この方々より、事業承継にあたっての問題点・課題、その他ご意見を伺い参考としたい。	3社

- 各委員において上記の内容について要・不要も含め検討し、出来得るならば早期に意見交換の場を設定し、当委員会の取組課題への参考としたい。